

住宅ECCO技術など

向上計画
総合研究所
経営セミナー開く

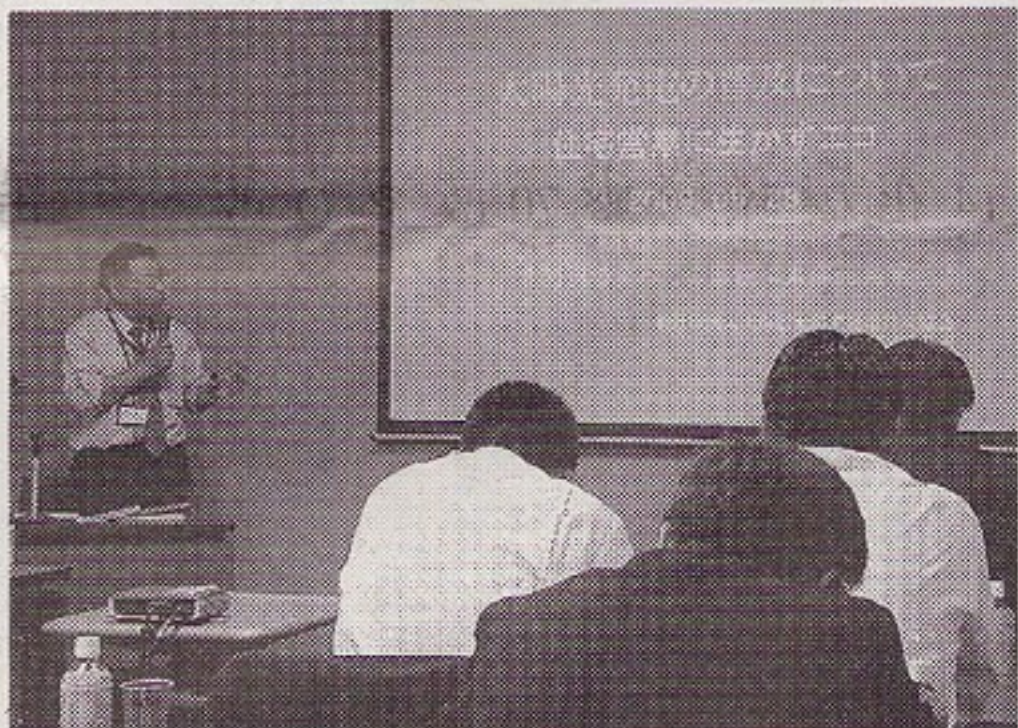
住宅会社の経営コンサルティングやバーチャル住宅展示場「ままハウス」を運営する向上計画総合研究所（本社・札幌、友村太郎代表）は5月28日、札幌国際ビルで「住宅営業に活かすエコ」をテーマとした経営セミナーを開いた。

北総研の福島明居住科学部長が「北方型住宅と住宅のECCO技術」、北海道太陽光発電普及協会会長の長岡忠正長岡新貴工業会長が「太陽光発電

の普及」をテーマに講演。

福島氏は、北方型住宅サポートシステムの内容や目的について解説。システム導入で、基本性能の確保、建物価値の保全、地場住宅産業の支援などに効果があるとしたほか、住まいの記録が保管されることで、「リフォームを行う際、無理・無駄のない工事が実現する」と強調した。

また、「寒冷地こそ断熱性能の向上が省エネにつながる」と訴え、建築



技術の基本要件として、①地域で生産・建設・修繕が可能②ローメンテナンス、厳しい気候条件に対応する材料で構成—などを挙げた。

長岡氏は、太陽光発電

太陽光発電システムについても説明した………システムについて「政府の環境施策、経済対策の追い風もあり需要増大は確実で、光熱費は払う時代からもらう時代になる」と述べ、

顧客満足度調査の結果や環境への貢献度などを解説。システムを搭載した自宅の電気売買料金を示すことで、家族の節電意識が高まることを強調した。